

東白石通信

東白石まちづくり実践会
とんぱくニュース
札幌市白石区本通
13丁目南10-1

東白石防災訓練千人規模で実施

東白石小の児童も参加，備えあれば憂い無し

防災の日の9月1日(金)に，白石あかつき公園と東白石小学校にて白石区防災訓練が実施されました。午前9時半，石狩中部を震源とする震度6強の地震が発生したとの想定です。白石区役所を中心に，白石消防署，白石区災害防止協力会，東白石地区町内会連合会など26団体，1000名の規模にて緊迫の中，訓練が開始されました。火災発生後の住民の避難，けが人の救出や煙道通過訓練，堤防決壊の想定での土嚢作り，消火訓練，バケツリレーと続きました。白石消防署の指導のもと，応急手当や天ぷら火災の消火実験など，災害時に役立つことだけに参加者は熱心に訓練を行っていました。

今年は初めて東白石小学校の児童485名も参加し，緊張の中，真剣に訓練を行っている様子が印象的でした。



また，会場内には，札幌市防災協会の火災警報器のコーナーや非常用食料品，避難用品も展示され，担当者の詳しい説明を受ける住民の姿も見られました。会場内では，赤十字奉仕団の炊き出しも行われ，約500食の配給が行われました。

この日は全国各地で防災訓練が実施され，静岡県ではシナリオなしの大規模な訓練が行われたとのこと。「災害は忘れた頃にやってくる。」の言葉のように，突然地震が発生し，災害が起きた時，現場の救助方法や避難場所，応急手当や水，食料，通信など多くの困難な問題が発生します。どれだけ確実に対応できるのか，想定なしの訓練には多くの成果が期待され，防災の見直しに役立つことでしょう。

日本は地震国です。台風を含め，毎年多くの犠牲者を出しています。札幌は大丈夫と安心するのは禁物で，災害に備えて最低3日分の水と食料，冬期間の暖房を含めた用意を個人の責任として準備しておくことが急務です。

災害に対し無防備で無関心な人が依然として多くいます。防災の日だけに終わらず，機会あるごとにその必要性を繰り返し訴える必要があります。



火災警報機の設置に取り組む

共同購入で成果を期待

新築住宅は平成18年6月1日から，

既存住宅は平成20年6月1日から，住宅用火災警報器の設置が義務化されました。住宅火災による死者数は全国的に増加傾向にあり，そのほとんどが逃げ遅れによるものと高齢者が大半です。

火災を感知し発生を知らせてくれる警報器の取り付けにより，少しでも死者数を減らし，安全なまちを目指す必要があります。

しかし，法制化されても罰則規定がないため，取り付けの強制はできません。そのため取り付けが進んでいないのが現実で，札幌市消防局では啓発運動のパンフレット配布や街頭での呼びかけを行っています。

東白石地区町内会連合会では，適正な性能の製品を低価格で購入する共同購入の取り組みを行っています。幹旋期間は10月31日まででしたが，引き続き各町内会の積極的な取り組みに期待しています。

高齢時代の敬老行事 (21世紀の敬老はどうなるか)

東白石地区16町内会の敬老行事の取組み

9月の敬老の日にちなみ、当編集委員会では、敬老行事に関する町内会アンケートを実施しました。その概要をお知らせします。

まず、すべての町内会で、敬老会の開催や記念品の贈呈などの敬老行事を行っています。

※ 栄通の5つの町内会は合同で敬老行事を実施しているため回答を一本化し、回答数は12町内会となりました。

1 敬老行事の対象年齢

70才以上とする町内会が多く、くわしくは図1に。

2 対象者の把握方法 (複数回答あり)

把握方法	町内会数
回覧の活用などによる自己申告	9
班長からの報告による	2
町内会員名簿から把握	2

※ 自己申告のうち「用紙を回覧し、各自が切り取り、会館へ提出する」という町内会がありました。

3 敬老行事の内容

(1)敬老会の開催……………6会場

町内会名	開催月日	会場
栄通5町内会合同	9月10日	南栄会館
南栄会	9月17日	南栄会館
南郷町内会	9月10日	南郷福祉会館
本郷町内会	9月18日	本郷会館
東友会	9月18日	みつば会館
あけぼの町内会	9月18日	東白石会館

※ 敬老会の内容は、会食、余興、カラオケ大会、ビンゴゲーム等で会を盛り上げているようです。

(2)記念品の贈呈……………14町内会

お茶—7町内会 日用雑貨—1町内会
 喜寿の祝金5,000円—1町内会
 スーパーマーケットの商品券—2町内会
 お菓子 (カステラ等) —3町内会

(3)敬老会の開催のみで記念品は贈らない…2町内会

4 敬老行事の経費総額 (図2)

(未回答1町内会)

図1 対象年齢別町内会数 (栄通の5町内会を含む)

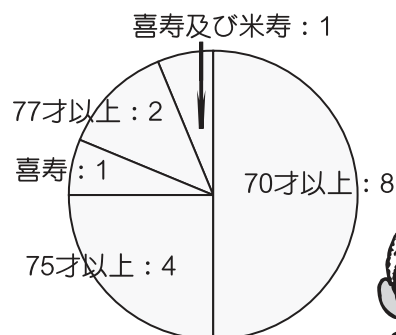


図2 経費別町内会数



※ 対象者一人あたりの経費はアンケート項目に含めませんでした。

5 敬老行事にかかわるホンネいろいろ

アンケートの最後に記入者のご意見をいただきました。いくつかを紹介します。

- 該当者の確認に区役所の協力が得られないものか。
- 行事内容は毎年ほぼ同じ、変えたいのだが。
- 余興の出し物がマンネリ化して苦勞している。
- 従来75才以上を日帰り温泉に招待していたが、人数が増え、贈り物に変更した。
- 町内会役員が敬老行事の対象年齢となるぐらいのため、行事を止めようかとの意見も。
- 今年、対象者を喜寿と米寿に変更したが、米寿を過ぎた方々の扱いの再考が必要。
- 他の町内会では対象者を何才にしているのか知りたい。
- 15年程前より記念品の贈呈に変えた。
- 対象年齢が100人を大幅に上回る場合、対象年齢の引き上げを検討。
- 品物でなく敬老の精神をいかに引継いでいくかが大切。

ひとり暮らしのお年寄りとの懇談会開催される

9月14日（木）と21日（木）に東白石会館と南栄会館で、一人暮らしのお年寄りとの懇談会が開催されました。この行事は、東白石地区福祉のまち推進センターが主催して今年で10年目を迎えました。

今回、東白石まちづくり実践会の事業としても位置付けられ、初めて東白石小学校と本郷小学校の児童の参加を得て、お年寄りとの交流を行いました。また、14日は横山白石区長も参加され、お年寄りと懇談されました。介護予防センター本通の社会福祉士からは、認知症のお話を聴き、老化を防ぐ体操を行いました。

その後、14日は東白石小学校の2年生70人が、歌や演奏を一生懸命に披露してくれました。参加者の皆さんも



可愛いね、上手ねと盛んに拍手を送っていました。終わりに、子どもたち全員でお年寄りの肩をたたくと、児童の一人が、「おばあちゃん、ありがとうと言って、泣いているんだから。」と駆け寄って来た姿が印象的でした。

21日は本郷小学校の4年生80人が、自分たちで考えた



出し物を元氣よく披露してくれました。お年寄りへのインタビューコーナーでは、「昔の学校は1学級に60人もいて、男女が別々の学級だった。」との答えに驚きの声があがりました。

子どもたちとの交流という初めての試みでしたが、お年寄りにも子どもたちにも、楽しいふれあいのひと時を過ごしていただけたものと思います。



森に学ぶ

平成18年8月26日（土）・27日（日）
安平町早来ときわキャンプ場

東白石地区青少年育成委員会が主催する小中学生のキャンプ「森に学ぶ」が、今年も52名の子どもたちが参加して行われました。

天候に恵まれ、子どもたちは、森のなかで虫取りや川遊び、滑り台などで自由に遊びまわり、また、スイカ割りやヨーヨー釣り、ダーツゲームなど、普段できない遊びに挑戦しました。野外でみんな一緒に食べる食事は、また格別な味です。

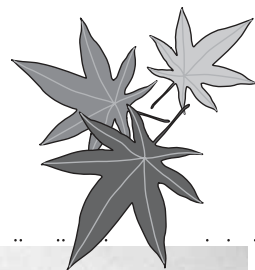
異なる学年の班に別れて行動するため、出発する時には、緊張ぎみでなかなか打ち解けませんでした。慣れてくると、班員同士が協力し合う姿がみられました。また、寝る時も、仲良くなった友だちと夜遅くまで話をしている子もいました。



町内会訪問

第2回 長栄町内会

会長 小柳 昭



町内会訪問の第2回は、今年創立50周年を迎えた長栄町内会です。

長栄町内会の歴史は古く、昭和32年に見渡す限りの田園地帯であったこの地で51戸の住民により設立されました。この年から数えて、今年で創立50周年を迎えました。

国道12号線と南郷との間の本郷通10丁目～11丁目が区域で、閑静な住宅街です。町内を13班に分け、各班には女性部の幹事と班長による組織で運営を行っています。特に、女性部の活躍は素晴らしく、町内会の運営を様々な分野で陰から支えている貴重な存在です。また、芸達者の人が多く、町内の催しや町連、日赤のチャリティなどには日本舞踊を披露し、皆様に大変喜ばれています。

先輩から引き継いできた年間行事は現在も続き、歴史の重みを感じます。新年会に始まり、町内の清掃、夏の子供七夕まつり、秋の日帰り旅行と町内の会員の交流を中心に実施しております。

この夏は創立50周年記念紙作りに役員が汗を流し、素晴



らしい会報が出来上がりました。この記録と記憶は後世に残るものと確信しております。役員歴が比較的長く、運営を含めてベテラン揃いで意思疎通が図りやすく、現在21年目の役員歴の女性もおります。

50年を迎え、これからの時代に合った運営を模索し、歴史の伝統を後世に引き継ぎ、住みよい町内会となりますよう心から願っております。

違法駐車一掃！

栄通東町内会が違法駐車一掃パトロール

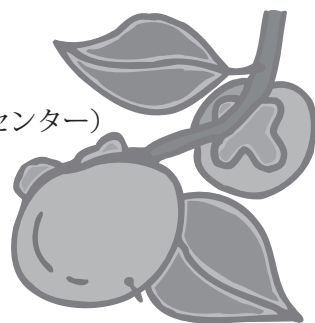
7月3日（月）に栄通東町内会が白石警察署から「違法・放置駐車車両排除活動モデル地区」に区内第1号で指定され、パトロールの出発式が行われました。地下鉄駅に近く、サイクリングロード沿いなどには、違法駐車や放置車両が多いことから指定を受けたものです。

現在、東白石安心安全パトロール隊の活動に加えて、町内会や交通安全実践会により、違法駐車の一掃を目指してパトロールが展開されています。9月21日（木）には、違法駐車排除と活動を周知する立看板が設置されました。活動開始後、違法な車両が減少しているとのことで、今後も、気を緩めず、息の長い取り組みが期待されます。



情報ひろば

- 8月29日（火）札幌市地域と創る冬みち事業 旭町内会ワークショップ（旭町内会館）
- 9月 9日（土）トンパク・キッズフェスティバル（東白石児童会館）
- 10月15日（日）グラウンドゴルフ大会（万生公園）
- 10月15日（日）日赤奉仕団東白石分団 第8回チャリティー歌と踊りの集い（白石東地区センター）
- 10月17日（火）東白石地区町内会連合会 防火防犯合同会議（東白石会館）
- 10月21日（土）地域のお茶の間サミット（本郷会館）
- 10月21日（土）～22日（日）東白石児童会館お泊り会
- 10月25日（水）一人暮らしのお年寄りの「ふれあい入浴ツアー」（つきさむ温泉）
- 10月26日（木）東白石地区町内会連合会 清掃問題合同会議（東白石会館）
- 1月 5日（金）東白石地区各種団体新年交礼会（札幌フローラ）
- 1月28日（日）親子、祖父母が昔遊び、餅つきで交流する「親子でチャレンジ」（東白石児童会館）



編集だより

各町内会からとんぱくニュース特派員を推薦いただきましたので、特派員の皆さんの顔合わせを行う予定であります。今後、各町内会の話題を積極的に掲載してまいりますので、特派員の皆さんは、町内の話題の収集、編集委員会への情報提供をよろしくお願いいたします。